予 算 要 求 資 料

支出科目 款:衛生費 項:医務費 目:医療整備対策費 令和5年度当初予算

事 業 名 災害拠点病院施設整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号:058-272-1111(内3235)

E-mail: c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

42,945 千円 (前年度予算額: 118,729 千円)

<財源内訳>

	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •										
				財	源		内	訳			
区分	事業費	国 庫支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 収	産入	寄附金	その他	県 債	一財	般源
前年度	118, 729	118, 729	0	0		0	0	0	0		0
要求額	42, 945	42, 945	0	0		0	0	0	0		0
決定額	42, 945	42, 945	0	0		0	0	0	0		0

2要求内容

(1)要求の趣旨(現状と課題)

・災害時における災害拠点病院の医療提供機能を確保するため、必要な施設整備に対して 補助を行い、県内の災害医療体制の充実を図る。

(2) 事業内容

災害拠点病院が災害時に適切な医療を提供するために必要な施設の整備に係る経費を補 助する。

• 災害拠点病院施設整備費補助金 42,459千円

補 助 先:地域災害拠点病院(西濃厚生病院)

整備内容:備蓄倉庫、非常用自家発電設備、受水槽、給水設備、ヘリポート

事業費:519,275千円

(3) **県負担・補助率の考え方** 国庫補助金(医療提供体制施設整備交付金)の活用

補助率:国 0.33 (それ以外の整備)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

	,	
事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	42, 945	災害拠点病院の施設整備に対する補助金
合計	42, 945	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1)後年度の財政負担

・県の財政負担はなし。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新	規	要	求	事	業	
継	続	要	求	事	業	

1 事業の目標と成果

(事業目標)

何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の災害拠点病院において、大規模災害時に多発する患者の受け入れ体制を整える。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
2						

〇指標を設定することができない場合の理由

当事業は、施設整備を行う災害拠点病院に対し国交付金による補助を行うものであるため、指標設定はそぐわない。

(これまでの取組内容と成果)

令	
	111
地域災害拠点病院施設整備事業を実施する2病院に対して補助金を交付し、 令 害医療体制の充実のために必要な施設の整備が完了した。 和 3 年 度	災
指標① 目標: 実績: 達成率: %	
令和6年度当初予算にて追加 令和 4 年度	
指標① 目標: 実績: 達成率: %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している O:ほとんどない

(評価) 3 災害時における災害拠点病院の医療提供能力の確保のため、必要な施設整備を行うものであり、事業の必要性が高いと言える。

事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり2:期待どおりの成果あり

2:期待どおりの成果が得られていない 1:期待どおりの成果が得られていない

0:ほとんど成果が得られていない

(評価) 2 整備を行うことで、災害時においても医療提供体制が維持できることが可能となる。

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。

2

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

各災害拠点病院にて、施設整備のみでなく定期的な訓練を実施していく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

今後も施設の整備を行う災害拠点病院については、引き続き整備を推進していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	